

ジーシー パターンレジンXF

使用方法

1. 前準備

ラバーカップ、筆、ティッシュペーパーなどを用意します。



(写真1)

2. 粉末と液の採取

付属のラバーカップの一方に適量の粉末を、他方に少量の液を採ります(写真1)。

3. 筆積み

筆先を液に浸し、粉末に触れることにより、粉末を一塊で筆先に付着させます(写真2)。

その後、必要な部分に盛り上げます(写真3)。

金属研磨面に盛り上げる場合は、特に分離材を塗布する必要はありませんが、研磨をしていない面に盛り上げる場合は、必要に応じて分離材として、ジーシーニューアクロセップ、ワセリンなどを塗布してください。操作中、筆先に残ったレジンは、手早くティッシュペーパーなどで拭き取りながら(写真4)次の筆積みを続けます。

この操作を繰り返し、パターンの形態を整えていきます。



(写真2)



(写真3)



(写真4)

使用上の注意

- 石こう模型上でパターンを作製する場合は、分離材として、ジーシーニューアクロセップ、ワセリンなどを塗布してください。
- ジーシー パターンレジンや他の歯科用パターンレジンの粉末および液との混用はしないでください。他の製品との混用により、硬化促進・遅延を起こす恐れがあります。
- ジーシー パターンレジンや他の歯科用パターンレジン、常温重合レジんに使用した筆やラバーカップとの混用はしないでください。他の製品との混用により、硬化促進・遅延を起こす恐れがあります。

4. パターン内面の確認

硬化後、マージン部を傷つけないように注意してパターンを内冠から外し、パターン内面の適合状態を確認します。

5. 形態修正

パターンを内冠に戻し、カーバイトバーなどで0.3～0.4mmの均一な厚みに仕上げます(写真5)。この際、デバイスで厚さを確認しておきます(写真6)。



(写真5)



(写真6)

6. 外形形成と窓開け

インレーワックスを盛り上げ、外形を形成します(写真7)。

続いて窓開けを行い、外冠パターンにリテンションビーズを接着させます(写真8)。



(写真7)



(写真8)

7. 埋没・焼却・鑄造

通法により行います(写真9)。

単冠(レジン約0.3g以下)の焼却は、ヒートショック法にて行うことができます。

大型のパターンの場合、300℃で1時間係留した後、炉内温度を上昇させてください。



(写真9)

詳細は添付文書をご確認ください。